

大八地区



人口7,287人/世帯数2,850
 町内会数16 (平成28年4月1日現在)

最大のイベント「第2回大八ふれあいまつり」には地域内外から多くの人、グループ、企業、団体等が参加しステージ、展示、バザー、防災広場等を実施、2千人弱の来場で大盛況でした。誰

もが参画・参加して良かったと思える活動を目指します。

1 絆の深まりを目指して
 「地域の財産は人であり、人と人の絆である」大八まち協の基本理念です。地域の安全・安心、少子高齢化、環境、子どもたちの教育；地域課題解決の根幹は人の絆であると考え、今年度まち協スローガンを「いっそう地域のコミュニケーションを深めよう」に定めました。



会長 井新治さん
 井新治 さん

2 まち協で大切にしている事
 (1) 地域コミュニティの場づくり
 ・県、市の応援を受けまちづくりワークショップを三回開催し、様々な意見を聞くと同時に、ともに課題解決の方策を考えました。
 ・まちカフェを開催し役職、立場に関係なく多くの人との意見交流を気楽な雰囲気の中で行っています。
 ・広報紙「ふるさと大八」を毎月全戸配布し、お知らせ・案内・募集；情報伝達一本化を迅速に進めています。

3 夢・希望・明日
 まち協が発足して2年弱、多くの意見聞き、試行錯誤を繰り返して成果も感じています。しかし次に向かい改善を熱く語り合うスタッフの姿を見る時、大八まち協の夢・希望、明日に向かう力を強く感じます。素敵な地域の人に支えられ絆は確実に深まっています。まち協の良さや大切さをいっそう地域に発信し「誰もが参画・参加するまち協の創造」に努力を積み重ねます。

シリーズ

協働のまちづくり

第19章

大八まちづくり協議会

誰もが住みたい地域は
 誰もが参加するまち協から



「第2回大八ふれあいまつり」のようす

広報 市長だより

59

剣の道に感じたこと
 高山市剣道会との対談より

高山市長 國島芳明

「相手があつてはじめて剣道ができる。だから相手を敬い思いやる気持ちと礼儀が大切なんです」

そう語っていたのは高山市剣道会の上坪道利会長と高山西高等学校剣道部顧問の前川矩英先生。今月10日・11日にビッグアリーナで開催される「文部科学大臣杯授与第5回高山市長旗争奪全国高校選抜剣道大会」を前に市長室を訪れていただきました。

お二人は試合の見どころを幾つも紹介いただきましたが、私の心に一番残った言葉は「残心(ざんしん)」でした。これは、ひとつの技を行った後に、油断することなく次の動作を行えるように準備する心と姿勢のことで、激しい試合展開を予測する審判も「残心」まで見切つて、はじめて一本を取るそうです。

礼儀をはじめ日々の鍛錬、洞察力、判断力、そして残心などに表される剣の道は、人間形成の道であり、日本人の伝統であると改めて感じた次第です。

トップレベルの剣士の技と心を間近で観覧できる貴重な機会です。ぜひお出かけいただき、全国から来高された剣士を応援してください。

市長室へようこそ

●市民と市長の面談日

12月14日(水)
 午後1時30分～4時15分

※事前にご予約ください



また、始業前の時間も市役所の市長室を「市民と市長の対話の場」として開放しています。お気軽にお越しください。

●開放時間

午前7時～8時30分まで

※出張や特別な行事がある場合は除きます。
 ※ホームページで市長の週間スケジュールを公開しています。

●市長室直通FAXもご利用ください

FAX☎32-7000

問合せ先 秘書課 ☎35-3130

ケーブルテレビの番組「ハイ、市役所です」はインターネットでもご覧いただけます。
 市ホームページ「行政情報」の動画コーナー

高山市公式YouTubeチャンネル 検索